南魚沼市立

*

ゆきぐに大和病院だより

理 念

私たちは、自然のうるおいの中で、 人それぞれの希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。 2012 **6**_{月号}

歯科口腔ド

ことがわかってきています。

(は口の中だけにとどまらず、糖尿病や心は口の中だけにとどまらず、糖尿病や心すると言われています。例えば、歯周病入り口であり、全身の健康にも強く関連入り口であり、全身の健康にも強く関連入り口であり、全身の健康にも強く関連人は口からものを食べて消化すること

病変の診査に重点を置いています。 粘膜の病変、顎関節の疾患、顎骨の中の歯科口腔ドック」を行っています。病院の科口腔ドック」を行っています。病院のして、歯科口腔外科の専門医による「歯助治療を目的に、人間ドックの歯科版と期治療を目的に、人間ドックの歯科版と

は一口腔内診査の前に

②歯周組織検査

態、歯石や歯垢の付着の有無を診

(冠・ブリッジ・入れ歯など) の状

①歯牙の診査

虫歯の有無と進行度、

治療した歯

診査項目について

排膿の有無をみることで、歯周病歯周ポケットの深さの測定や出血・

③口腔粘膜の診査を行います。

ます。 ます。 は 成病変等の粘膜疾患の診査を行い について、口腔がんや前が 氏、歯肉、口唇、頬など口腔内の粘

上下の類の変み令 ④**咬み合せの診査**

[10] [10] びの診査を行います。 上下の顎の咬み合わせの状態、歯並

顎関節の痛みや運 ⑤**顎の関節の診査**

います。音、骨の変化等について診査を行顎関節の痛みや運動障害、関節の雑

⑥レントゲン検査(写真)

行度(歯を支える骨の状態)、上顎まっている親知らず、歯周病の進きる「パノラマレントゲン写真」を撮影さる「パノラマレントゲン写真」を撮影でと顎および周りの骨も含めて撮影でと顎および周りの骨も含めて撮影でとった。



パノラマレントゲン写真

通っていない方も、無症状なまま病気が どの症状がなくても、気になる所がある 状が出る前に悪いところを見つけて、 が中心と考えられています。しかし、 回復させたり、歯石をとったりすること が腫れたなどの理由で歯科医院へ行き、 潜んでいる場合があります。全身の健康 方だけでなく、最近何年間も歯科医院に 方、ずっとご自分の歯で咬みたいという 歯並びや顎の関節の音が気になっている 方、自分の口の中の現状を知りたい方、 いをすることも少なくなります。痛みな 費用を減らすことができ、治療で痛い思 期に治療を行えば、治療にかかる時間や 詰め物やかぶせ物を入れて口腔の機能を 歯科治療というと、虫歯が痛

院健友館までお願いします。として実施しています(事前予約要)。として実施しています(事前予約要)。

つことは大切なことです。

を考える上でも、口腔の健康に関心を持



することができます。 嚢胞(のうほう)や腫瘍などを診査洞・顎関節の状態、顎の骨にできる

5. 診査終了後

歯科口腔外科

医長

加

納

浩

之

あります。

あります。

本的ます。

の受診をお勧めしていますが、口腔外科の受診をお勧めしていますが、口腔外科が必要な場合、基本的にはかかりつけ医が必要な場合、基本的にはかかりつけ医説明を行い、報告書をお渡します。治療説明を行い、報告書をお渡します。

診療日のご案内

説明

診療科に対する曜日欄の記載は、○=診療日、- =休診となります。

○と(休診有)の記載がある場合は、当月に臨時休診があります。備考欄で、休診日をご確認ください。 また、曜日欄に「日にち」の記載がある場合は、毎週ではなく診療日限定となります。

	整形外科		月	火	水	木	金	土	受 付	診療	備考・休診日
	新	患	0	0	0	0	0	0	8:00~10:00	例承±9:00~ 月承金10:20~	
般外	再	診	0	0	0	0	0	_	予約方法は、P3上「予約 または予約変更につい て」をご参照ください	9:00~	
来		予 約 (再診)	0	0	0	0	0	_			
甫	脊椎		_	5日・19日	_	_	_	_	8:00~10:00	10:20~	
専門	上肢		_	_	_	0	_	_	予約制		
外	足		_	_	1	_	8日	_	8:00~10:00	9:00~	
来	リウマチ		_	_	_	_	_	2日・16日	0.00,010.00		

形成外科	月	火	水	木	金	土	受 付	診療	備考・休診日
カシルスタドイイ	_	_	_	_	0	_	13:00~14:30	13:30~	

医師別の診療予定が必要な方は、医師(名字)・診療日(数字)が 記載された一覧を、病院・医療連携室でお受け取りください。

子どもの予防接種日程

予防接種	接種日	受付時間	接種時間	
三種混合	6月1日(金) 7月6日(金)		13:30~	
麻しん・風しん混合 1期 2期 3期 4期	6月8日(金)	13:20~		
日本脳炎	6月15日(金)	14:00		
BCG	6月22日(金)			
二種混合	6月29日(金)			

※予約が必要です。予約・お問い合わせは、医事課まで。

※小児のヒブ、肺炎球菌、中学生の子宮頸がん予防接種は上記の日程全般で行います。

病院休診日のお知らせ

18日(月) 第3月曜日

※各診療科の休診日は、「診療科・診療日の案内」の最右「備考・休診日」欄でご確認ください。

精神科からのお知らせ

6月より、メモリークリニックの診療日は、 **月・水**曜日の午前および<u>金曜日の午後</u>となり ます。診療はすべて予約制となっております。

【予約・問合せ】 地域医療連携室

病院機能評価の基準を満たした病院として認定されました

庶 務 課

当院は今年1月10日から12日までの3日間、財団法人日本 医療機能評価機構による病院機能評価 ver6.0の審査を受けま した。

病院機能評価とは、患者さまが安心して安全な医療を受けることができるよう「病院をもっとよくしていく」ための審査で、全国で約3割の病院がその認定を受けています。

- ・病院組織の運営と地域における役割
- ・患者の権利と医療の質および安全の確保
- ・療養環境と患者サービス
- ・医療提供の組織と運営
- ・医療の質と安全のためのケアプロセス
- ・病院運営管理の合理性

などの視点から、1000以上の項目にわたって審査が行われました。一発合格率は15%とも言われる難関ですが、医療の質、患者さまへのサービスの本質を理解し、病院の理念を実践することを目的として全職員が一丸となって取り組んだ結果、4月6日付で「病院機能評価ver6.0の基準を満たした病院」として認定されました。





平成24年6月

診療科

予約または予約変更について

受付日時:予約または予約変更をしたい診療科が診療している日の、

月~金曜日の午後2時~4時(歯科は歯科の受付欄参照)

方 法:電話にて受付けます。

ゆきぐに大和病院 代表 TEL 025-777-2111 FAX 025-777-3853

内 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診療	備考・休診日
一般外来	0	0	0	0	0	0			
内分泌糖尿病	0	0	0	0	0	0		9:00~	
循環器科	0	備考参照	0	0	_	2日·16日 30日	8:00~		火曜日=予約制
腎臓科	_	_	_	_	15日	9日	11:00	10:15~	
呼吸器科	_	_	_	0	_	9日·16日 23日	1	0.00	
神経内科	0	0	_	0	0	_]	9:00~	初診は予約が必要
睡眠時無呼吸	_	_	_	0	_	_	予約制	13:30~	
							(3ページ上の記事参照)	
和漢診療科	月	火	水	木	金	土	受 付	診療	備考・休診日
午 前	0	0	0	0	0	(休診有)	8:00~11:00	9:00~	休診=30日(土)
午 後	0	0	0	(休診有)	(休診有)	_	13:00~14:30	13:30~	休診=7日(木)、14日(木) 29日(金)
精神科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	_	0	_	0	0	0	予約制	9:00~	
脳ドック科	11日・25日	_	_		_	_	(3ページ上の記事参照	10.00	
メモリークリニック	0	_	0	_	0	_	予約制	月水9:30~ (午前のみ) 金13:30~	
高次脳機能障害科	11日・25日	ı	_	_	ı	_		13:30~	
61 TV		.I.					FG 44		/#-#/ /L=A.FI
外 科 胃 腸 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診療 9:00~	備考・休診日
肛 門 科	0	0	0	0	0	0	8:00~11:00	第1·3·5± 10:00~	
小 児 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診療	備考・休診日
一 午 前	0	_	0	_	0	0	8:00~11:00	9:00~	
外 午 後	_	_	_	_	休診	_	予約制 (3ページ上の記事参照	3) 14:00	※6月はすべて休診です
内分泌糖尿病	_	_	_	21日	_	_	14:00~16:30	14:00~	
	'					1		· ·	
43 I III	月	火	水	木	金	土	受 付	診療	備考・休診日
婦人科	_	0	0	0	0	0	8:00~11:00	⊛金±9:15~ 承录10:30~	予約優先
眼科	月	火	水		金	土	受 付	診療	備考・休診日
一般受付	_	_	_	_	_	0	8:00~11:00	9:00~	予約優先
予約制	_	0	0	0	_	_	予約制 (3ページ上の記事参照	10:15~	
							1 2 7 2 7 2 7 2 7		
工鼻咽喉科 ——	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前	_	_	_	_	_	0	8:00~11:00	9:00~	
午後	_	0	_	0	_	_	13:00~15:00	14:00~	
皮 膚 科		_	0	_	0	_	8:00~11:00	9:00~	
泌尿器科	_	_	_	0	_	_	5 50 11:00		
歯科	月	火	水		金	土	受 付	診療	備考・休診日
歯科・小児歯科		0				0	予約制	H2 7.75	H GETTI C. MA
矯正科	_	_	13日・20日	_	_	_	【 電話予約可 】	9:00~	
歯科口腔外科	0	0	_	0	0	0	$ \begin{array}{c c} 8:30\sim12:30\\ 13:30\sim17:15 \end{array} $		
P411-41/171							1 (-2 23 2. 10)		

シリーズ 私たちの地域医療

薬剤科科長 Щ 田 光 雄

への服薬説明など、幅広い業務を行っ 当薬剤科は、調剤業務から患者さま

という点に重きを置いています。 関わり、信頼関係をいかに構築するか 剣に向き合い、地域社会や地域医療と めざしています。また、患者さまと真 おしてより早く治癒に近づけることを す。患者さまが何を求め、何に困って きるだけ近くなるように心がけていま いるかをお聞きし、服薬の説明等をと 特に私たちと患者さまとの距離がで

うに調合し、説明をしています。その 患者さまが適切にお薬を使用できるよ たちの業務は多岐にわたっています 使用されるように関与しています。私 ば、処方医に確認します。 わせや副作用の有無などで疑問があれ ての「薬」について、安全で効果的に が、そのいくつかを挙げてみますと、 私たちは、病院の中で使われるすべ 薬の量や使い方、あるいは飲み合

防、栄養管理などにおいても他スタッ す。医療安全対策、感染や床ずれの予 はいけない注射薬の確認をしていま ています。注射薬の準備をし、混ぜて れ薬の特性に合わせて保管・管理をし フと協力してより良い医療の提供に努 麻薬・毒薬など特別な薬は、それぞ

りのことがないかなどお聞きしていま をチェックしたり、お薬についてお困 方法を確認したり、副作用・相互作用 また入院患者さまに薬の効果、使用

別と入院処方箋への転記等にも取り組を少しでも軽減するため、持参薬の鑑 のチェック、翌月の処方箋の準備等も す。その他、注射薬の混注、処方切れ 族の生活の質を高めるよう努めていま 行っています。また多忙な医師の業務 方をとおして、患者さまご自身とご家 在宅医療においては薬の正しい使い

うことを忘れるわけにはいきません。私たちが病院で働くうえで地域とい 私たちが質の高い医療サービスを提供 たいと考えています。 れるよう、自身の役割を果たしていき ています。私たちはその責務に応えら 努めていくことが責務として求められ より良い薬物治療を提供できるように チームを組みながら患者さまのために の中だけではなく、各医療スタッフと し、地域医療に貢献するためには病院

2.メモリークリニック(もの忘れ外

い合わせをいただいています。

※相互作用:薬の組み合わせによって起こる 好ましくない作用

談ください。

われる症状に気付いた場合は、

認知症疾患医療センター相談員 田

一変息区源センター閲覧から一部

県には当院を含めて6か所あります。 認知症疾患医療センターは、「認知症の 連携室内に開設され1年を迎えました。 ンターは、平成23年5月1日に地域医療 人とその家族が住み慣れた地域で安心し 政令指定都市が指定したものです。新潟 て、厚生労働省の許可を得て都道府県や て生活ができるための支援の一つ」とし ゆきぐに大和病院の認知症疾患医療セ

検査、治療、症状、対応方法、介護保険 サービス等について多くのご相談やお問 ご本人やご家族の方等から外来受診、 くの方からご出席いただきました。 昨年度は講演会と研修会を開催し多

いますのでよろしくお願いいたします。 センターを活用していただけたらと思

これからも身近な相談窓口として当



とともに受診予約から受診までの流れを

説明し疑問にお答えします。認知症と思

の希望等をうかがい、予約をお取りする

てもらいたいこと、治療・検査について

初めて受診する際には事前に症状や診

来)への受診予約をお手伝いします

1. 認知症に関係する相談をお受けしま

当センターの主な活動内容を説明しま

です。センターだよりは当センター窓

口等で配布しています。

保健・医療・福祉関係機関、

サービス機関等との研修会や勉

強会を実施します

定期的に幅広い内容をお伝えする予定

会の開催等を掲載しました。今年度も 当センターの利用方法、講演会・研修

し、病気の基礎知識や受診について、

センターだよりを季刊誌として発行

定期的に発信しています

認知症に関係する知識等の情報を